

一般質問通告書

下記の件について、質問いたしたく通告いたします。

令和2年11月19日

多摩市議会議員 岩永ひさか

多摩市議会議長 藤原 マサノリ 殿

質問項目

1 多摩市の文化振興とパルテノン多摩について

答弁者

市長・教育長等

受付	令和 年 月 日	No.
	午前・午後 時 分	

項目別質問内容

<p>1 多摩市の文化振興とパルテノン多摩について</p> <p>先日、キースヘリングの絵がパルテノン多摩の工事囲いに掲示されました。再開館後も、文化と市民をつないでいく運営姿勢をもって、パルテノン多摩が地域の皆さんに帰ってくるというメッセージを伝えるための装飾だと理解しています。装い新たとなるパルテノン多摩に市民の期待はどのように高まっていくのでしょうか。また、高められていくのでしょうか。</p> <p>この壁画には「文化芸術を通して、みんなが喜び、つながり、街の魅力を想像する場所へ」という一文も添えられています。文化芸術を通してみんなが喜び、つながるということを私たちはどのように実現しようとしているか、その道筋はどのように描かれているのでしょうか。単に、パルテノン多摩の大規模改修をすれば良いという話しではないことは共通の認識として持てるのだと思います。私たちは今、大規模改修をしたパルテノン多摩と最も重要なその運営の在り方にどのような展望を描き、具体的に取組もうとしているのでしょうか。</p> <p>そもそも、パルテノン多摩の大規模改修にあたり、市議会では平成28年度予算の議決の際に附帯決議を全会一致で可決しています。これは「少子化・高齢化時代を見据えて将来世代に過度な負債を残さないという財政上の見地」を重視すべきだという立場によるものであり、多摩センター地域全体の更なる活性化につながるよう工夫も求めています。その視点は大規模改修の時だけに問われることなく、その後に継続する施設づくり、言ってみれば施設運営にもつながっていく重要な視点であると考えています。</p> <p>この間、大規模改修に向けた基本構想、基本計画から具体的な実施設計に至るまでの間、専門家の力を借り、市民も交えながら、協議の場を重ねてきました。そして、「管理運営計画」も策定されましたが、それを踏まえ、具体的な取り組みを進めていくために行政、指定管理者はどのような役割分担で取り組んでいくのでしょうか。</p> <p>少なくとも30年間は存続することが前提で実施するパルテノン多摩の大規模改修工事です。そのための責任を私たちがどのように果たしていけるのか、あるいは果たそうとするのか、現状共有をするため、以下質問いたします。</p> <p>(1) 文化条例制定も視野に入れた多摩市文化芸術方針について</p> <p>①検討のスケジュールと検討委員会メンバーの選定の仕方について</p> <p>②初回の会合(10月30日)で協議された内容について</p> <p>③文化芸術方針ではなく、条例を制定することの意義について</p> <p>④多摩市として方針や条例に盛り込んでおくべきと考えている内容について</p>
